

I 概要

【内政】

- 9日 サントス大統領による、ティモチェンコFARC最高司令官に対するキューバへの渡航許可が判明。

【外交】

- 7～9日 オルギン外相のスペイン及びバチカン訪問
- 14日 オルギン外相のアンデス共同体外相評議会出席（於：ペルー）
- 15日 イエンセン・デンマーク貿易・開発大臣の当国訪問
- 17日 オルギン外相のパナマ訪問
- 18～22日 アストリッド・ベルギー王国王女及びレンデルス同国副首相兼外相の当国訪問
- 28～11月2日 チャールズ皇太子の当国訪問
- 30日 ブランコ・ポルトガル国防相の当国訪問
- 31日 ロイサガ・パラグアイ外相の当国訪問

II 本文

【内政】

1 ティモチェンコFARC最高司令官に対するキューバへの渡航許可

9日、サントス大統領は、ティモチェンコFARC最高司令官に対して、これまでに2回キューバへの渡航を許可したことを認めた。この渡航許可は、交渉を加速化させることが目的であったが、同最高司令官は交渉自体には出席せず、交渉の合間にFARCの交渉関係者と協議した。

【外交】

1 オルギン外相のスペイン及びバチカン訪問

7～9日、オルギン外相及びウンベルト・デ・ラ・カジェ和平交渉団長はスペイン及びバチカンを訪問した。

(1) スペイン

7日、オルギン外相及び・デ・ラ・カジェ和平交渉団長は、ヘスス・マヌエル・グラシア・スペイン国際協カイベロアメリカ担当長官と会談した。同長官は、スペインが和平交渉を支持するとともに和平後の支援をする用意がある旨述べた。

8日、オルギン外相はホセ・マヌエル・ガルシア＝マルゲージョ・スペイン外務・協力

大臣と会談した。同大臣は、スペインがEU内でイニシアティブをとっている和平支援のための欧州基金は、開発協力、安定・和平への協力、民主主義・人権への協力という3種類のスキームから構成される旨説明した。

(2) バチカン

9日、オルギン外相はバチカンを訪問し、ピエトロ・パロリン法王庁國務長官と会談し、和平交渉の進捗状況につき説明した。

2 オルギン外相のアンデス共同体外相評議会出席（於：ペルー）

14日、アンデス共同体外相評議会出席のため、オルギン外相は、アルバレス＝コレア商工観光大臣とともに、ペルーを訪問した。同会合は、アンデス共同体の機構改革に関する進捗状況のフォローアップを目的としていた。

3 イエンセン・デンマーク貿易・開発大臣の当国公式訪問

15日、イエンセン・デンマーク貿易・開発大臣が当国を公式訪問し、カルロス・モラレス外務大臣臨時代理（マルチ担当外務次官）とのワーキング・ランチにおいて、二国間の諸問題につき協議した。

4 オルギン外相のパナマ訪問

17日、オルギン外相はパナマを訪問し、イサベル・デ・サンマロ・パナマ外相と会談し、金融協力の可能性等につき協議した。その後21日、両国政府は資金洗浄及び二重課税防止等に関する覚書きに署名するとともに、コロンビア政府は、10月7日付けでタックス・ヘイブン・リストに含めたパナマを、再度同リストから除外した。

5 アストリッド・ベルギー王国王女及びレンデルス同国副首相兼外相の当国訪問

18～22日、アストリッド・ベルギー王国王女が、ディディエ・レンデルス副首相兼外相及び200名以上の企業家とともに当国を訪問し、20日、サントス大統領及びオルギン外相と会談した。

また21日、オルギン外相は、ディディエ・レンデルス副首相兼外相と外相会談を実施し、二国間関係等につき協議した。

6 チャールズ皇太子の当国訪問

28～11月2日、チャールズ皇太子及びカミラ夫人が当国を訪問した。28日、同皇太子は、英国大使館においてパストラナ元大統領、サニン元外相等の要人と懇談した。29日には、サントス大統領と会談したほか、サントス大統領主催晩餐会に参加した。30日は、メタ県にあるマカレナ自然公園を訪問した後、11月2日までカルタヘナに滞在した。

7 ブランコ・ポルトガル国防相の当国訪問

30日、ジョセ・ペドロ・アギアル・ブランコ・ポルトガル国防相が、第4回国際防衛

見本市に参加するため、当国を訪問した。

8 ロイサガ・パラグアイ外相の当国訪問

31日、太平洋同盟・メルコスール外相会合出席のためカルタヘナを訪問したロイサガ・パラグアイ外相は、オルギン外相とともに、人身取引防止・調査及び被害者支援・保護に関する覚書き並びに領事協力に関する覚書きに署名した。

(了)